

# ほんじょうし しょうがいしゃふくし かん 本庄市の障害者福祉に関するアンケート

## 【ご協力のおかげ】

ひ 日ごろより、しせい 市政にごきょうりよく 協力いただきありがとうございます。

ほんし 本市では、しょうがい 障害のある人もない人もともにあんしん 安心して暮らせるちいき 地域づくりをめざ 目指して  
さまざま 様々なしょうがいしゃ 障害者施策をそうごうてき 総合的にすす すすめてきました。げんざい 現在のしょうがいしゃけいかく 障害者計画・しょうがい 障害(児)ふくしけいかく 福祉計画が、  
れいわ 令和5ねんど 年度をもってけいかくきかん 計画期間を終えることから、し 市ではあら 新たなけいかく 計画をつくるさぎよう 作業を進めて  
います。あた 新たなけいかく 計画をつくるにあたり、せいかつ 生活の実情やじつじよう サービスのりようじようきよう 利用状況、ふくし 福祉施策へ  
のご意見などをお聞きすることといたしました。

このちようさひよう 調査票は、しな い 市内にきじゆう 居住するしょうがいしゃてちよう 障害者手帳をお持ちの方、かた 重度心身しょうがいしゃいりようひ 障害者医療費の  
しきゆう 支給を受けている方などをかた 対象にお送りしています。なお、このちようさ 調査はすべてむきめい 無記名で  
おこな 行われ、とうけいてき 統計的にしより 処理されますことから、かいとう 回答いただいたないよう 内容はちようさもくてきがい 調査目的以外に使用す  
ることはありません。

ほんちようさ 本調査のしゆし 趣旨をごりかい 理解いただき、ごきょうりよく 協力をたまわ 賜りますようお願いいたします。

れいわ 令和5ねん 年5がつ 月 ほんじょうしちよう 本庄市長 よしだ 吉田 しんげ 信解

### かいとうほうほう 回答方法について

- ゆうそう 郵送でおた 答えの方は、かた 記入がきにゆう 終わりましたら、れいわ 令和5ねん 年xxがつ 月xxにち 日(xx 曜日)までに、へんしんようふうとう 返信用封筒(きってふよう 切手不要)に入れて、ごへんそう 返送ください。
- このちようさ 調査は、ちようさ Web ブラウザからのかいとう 回答が可能です。  
Web によるかいとう 回答をごきぼう 希望の方は、かた 右のみにじげん 二次元コード  
をスマートフォン・タブレットでよみこ 読み込んでください。
- Web でかいとう 回答される場合は、さいしよ 最初のせつもん 設問には、しきべつよう 識別用  
コードをにゆうりよく 入力してください。このしきべつよう 識別用コードは、かみ  
のちようさひよう 調査票によるかいとう 回答とのちようふく 重複をはんてい 判定するために  
しよう 使用されており、こじん 個人をとくてい 特定するためのものではありません。
- Web でおた 答えの方は、かた 令和5ねん 年xxがつ 月xxにち 日(xx曜日)までに、  
かいとう 回答をかんりよう 完了してください。

二次元コード

しきべつよう 識別用コード XuNvfE

【アンケートに関するお問い合わせ先】 かん 本庄市 と あ 福祉部 さき 障害福祉課  
でんわ 電話:0495-25-9232/ファクス:0422-47-9577

## かいとう ねが 回答にあたってのお願い

- あなた(宛名の方)がご回答ください。おひとりで回答するのが難しい場合は、施設の職員の方やご家族の方のサポートを受けながら回答いただいても結構です。
- 答えたくない質問や、記入しづらい項目がありましたら、その質問を飛ばして、次の質問にお進みください。

## 1 かいとう かた 回答いただく方について

問1 かいとう だれ  
回答するのは誰ですか。(1つに○)

- |          |             |               |
|----------|-------------|---------------|
| 1. 宛名の方  | 3. 配偶者(夫・妻) | 5. その他<br>( ) |
| 2. 父親・母親 | 4. 子ども      |               |

## 2 あなた(宛名の方)について

問2 せいべつ かいとう  
性別をご回答ください。(1つに○)

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

問3 ねんれい かいとう  
年齢をご回答ください。(4月1日現在、1つに○)

- |           |           |          |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 29歳未満  | 3. 40～49歳 | 5. 65歳以上 |
| 2. 30～39歳 | 4. 50～64歳 |          |

問4 す ちいき  
住んでいる地域はどこですか。(1つに○)

- |            |            |          |
|------------|------------|----------|
| 1. 本庄東中学校区 | 3. 本庄南中学校区 | 5. 本庄市外  |
| 2. 本庄西中学校区 | 4. 児玉中学校区  | 6. わからない |

問5 いっしょ く だれ  
一緒に暮らしているのは誰ですか。グループホームや福祉施設、医療機関に入居・入院されている方は「1. ひとり暮らし」を選択してください。(○はいくつでも)

- |             |            |                |
|-------------|------------|----------------|
| 1. ひとり暮らし   | 5. 子ども     | 9. 孫           |
| 2. 父親       | 6. 子どもの配偶者 | 10. その他<br>( ) |
| 3. 母親       | 7. 兄弟姉妹    |                |
| 4. 配偶者(夫・妻) | 8. 祖父母     |                |

### 3 障害や疾病の状況について

問6 お持ちの障害者手帳等は、どれですか。(○はいくつでも)

身体障害	1. 身体障害者手帳1級 2. 身体障害者手帳2級 3. 身体障害者手帳3級	4. 身体障害者手帳4級 5. 身体障害者手帳5級 6. 身体障害者手帳6級
知的障害	7. 療育手帳④ 8. 療育手帳A	9. 療育手帳B 10. 療育手帳C
精神障害	11. 精神障害者保健福祉手帳1級 12. 精神障害者保健福祉手帳2級 13. 精神障害者保健福祉手帳3級	
その他	14. 指定難病に係る医療受給者証 15. サービス受給者証	
	16. いずれも持っていない	

※問6-1は、身体障害のある方(問6で「1.」～「6.」と回答した方)にお聞きします。

問6-1 障害の種類・部位は何ですか。(○はいくつでも)

1. 視覚障害	5. 内部機能障害(心臓、腎臓、肝臓、呼吸器、小腸など)
2. 聴覚障害・平衡機能障害	6. その他( )
3. 音声・言語・そしゃく機能障害	
4. 肢体不自由(上肢、下肢、体幹、運動機能障害など)	

問7 自立支援医療(精神通院)を利用していますか。(1つに○)

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

問8 受けている障害支援区分をご回答ください。(1つに○)

- |        |        |            |
|--------|--------|------------|
| 1. 区分1 | 4. 区分4 | 7. 非該当     |
| 2. 区分2 | 5. 区分5 | 8. 申請していない |
| 3. 区分3 | 6. 区分6 |            |

障害支援区分とは

障害のある人などが必要とする支援の度合いを総合的に示したもので、6段階に分けられており、数字が大きいほど必要な度合いが高いことを示します。

問9 難病（特定疾患）の認定を受けていますか。(1つに○)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

問10 発達障害と診断されたことがありますか。(1つに○)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

発達障害とは

生まれつきみられる脳の働き方の違いにより、行動面や情緒面に特徴がある状態のことです。

自閉症スペクトラム障害(ASD)、学習障害(LD)、注意欠如・多動性障害(ADHD)などが含まれています。



問11 高次脳機能障害と診断されたことがありますか。(1つに○)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

高次脳機能障害とは

ケガや病気により脳に損傷を受けて生じた記憶障害や注意障害、社会的行動障害などのことをいい、こうした障害では、会話がうまくかみ合わないなどの症状があります。

問12 現在受けている医療的ケアをご回答ください。(〇はいくつでも)

1. 人工呼吸器	9. 皮下注射
2. 気管切開	10. 血糖測定
3. 鼻咽喉頭エアウェイ	11. 透析
4. 酸素療法	12. 導尿
5. 吸引(口鼻腔・気管内吸引)	13. 排便管理
6. ネブライザー	14. 痙攣時の坐剤挿入、吸引、酸素投与、 迷走神経刺激装置の作動等の処置
7. 経管栄養	15. 医療的ケアは受けていない
8. 中心静脈カテーテル	

## 4 日常生活の介助について

問13 日常生活においてどの程度の介助が必要ですか。(それぞれ1つに〇)

	全面介助 が必要	一部介助 が必要	ひとりで できる
1. 食事	1	2	3
2. トイレ	1	2	3
3. 着替え	1	2	3
4. 入浴	1	2	3
5. 家の中の移動	1	2	3
6. 外出時	1	2	3



※問13-1は、問13で1つでも「1」「2」に〇を付けた方にお聞きします。

問13-1 主に介助している方(介助者)は誰ですか。(1つに〇)

1. 父親	5. 子どもの配偶者	9. ヘルパー
2. 母親	6. 兄弟姉妹	10. ボランティア
3. 配偶者(夫・妻)	7. 祖父母	11. その他
4. 子ども	8. 孫	( )

※問13-1-1は、問13-1で「1.」～「7.」と回答した方にお聞きします。

問13-1-1 主に介助を行っている方の年齢をご回答ください。(1つに○)

- |           |           |            |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 15歳以下  | 4. 30～39歳 | 7. 60～69歳  |
| 2. 18歳未満  | 5. 40～49歳 | 8. 70歳～79歳 |
| 3. 18～29歳 | 6. 50～59歳 | 9. 80歳以上   |

## 5 住まいの状況について

問14 お住まいの建物の形態をご回答ください。(1つに○)

- |         |            |
|---------|------------|
| 1. 一戸建て | 3. 福祉・医療施設 |
| 2. 集合住宅 | 4. その他 ( ) |

問15 お住まいについて困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- |              |                       |         |
|--------------|-----------------------|---------|
| 1. 階段の昇り降り   | 4. トイレが使いにくい          | 7. その他  |
| 2. 玄関・出入口の段差 | 5. 建物の老朽化             | ( )     |
| 3. お風呂が使いにくい | 6. 家賃・修繕費など<br>住宅費の負担 | 8. 特にない |

## 6 日常生活や相談について

問16 普段、昼間の時間はどのように過ごしていますか。(○はいくつでも)

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1. 自宅や入所施設で過ごしている   | 5. 自営業・家業の手伝い  |
| 2. 大学や専門学校に通っている    | 6. パート・アルバイトなど |
| 3. 通所施設や作業所などへ通っている | 7. その他         |
| 4. 会社などで働いている       | ( )            |

問17 日常生活において、困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. 介助などをしてくれる人がいない   | 8. 外出しにくい         |
| 2. 悩みや困っていることを相談できない | 9. 医療費や生活費の負担が大きい |
| 3. 近隣との付き合いが少ない      | 10. 医療機関が身近にない・遠い |
| 4. 十分な教育が受けられない      | 11. まわりの人の理解が少ない  |
| 5. 一緒に暮らす人がいない       | 12. その他           |
| 6. 住宅で使いにくいところがある    | ( )               |
| 7. 就労の場がない           | 13. 特にない          |

問18 日常生活で困ったことや悩みを相談する人は誰ですか。(〇はいくつでも)

- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| 1. 家族・親族      | 9. 障害者団体や家族会          |
| 2. 友人・知人      | 10. 同じ障害のある仲間         |
| 3. 近所の人       | 11. 民生委員・児童委員         |
| 4. ヘルパー       | 12. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 |
| 5. 福祉事業所などの職員 | 13. 市役所の窓口や保健師        |
| 6. 社会福祉協議会の職員 | 14. 保健所の職員            |
| 7. 相談支援事業所の職員 | 15. その他 ( )           |
| 8. 医療関係者      | 16. いない               |

問19 新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) の拡大に伴い、どのような生活の変化がありましたか。(〇はいくつでも)

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| 1. 自由に使える時間が増えた              | 10. マスクの着用で肌に不快感や痛みを覚えるようになった               |
| 2. 人と会うストレスが軽減された            | 11. オンラインでの申し込みや支払いなどがわかりにくく、必要な手続きがしにくくなった |
| 3. 在宅勤務等により通勤・通所時のストレスが軽減された | 12. 新しい生活様式のための支出 (マスクや消毒液などの購入費) が増えた      |
| 4. 外出しにくくなった                 | 13. 収入が減少した                                 |
| 5. 気分転換・ストレス解消がうまくできなくなった    | 14. その他 ( )                                 |
| 6. 体力が低下した                   | 15. 特にない                                    |
| 7. 通院・通所がしにくくなった             |   |
| 8. 福祉サービスの利用が減った             |   |
| 9. 他の人とコミュニケーションが取りにくくなった    |   |

## 7 健康や医療について

問20 保健・医療について困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 障害が重くなったり病気が進行したりすること | 11. 障害に理解のある歯科医が少ない      |
| 2. 生活習慣病などの病気            | 12. 医療費の負担が大きい           |
| 3. 健康を保つ方法がわからない         | 13. 通院時に付き添いが必要          |
| 4. 薬の飲み方・使い方がわからない       | 14. 十分なリハビリテーションが受けられない  |
| 5. 近くで専門的な治療を受けられない      | 15. 訪問看護や往診をしてもらえない      |
| 6. 通院時の交通が不便、移動が大変       | 16. こころの病気について相談するところがない |
| 7. 診察の受付や案内がわかりにくい       | 17. その他 ( )              |
| 8. 手続きで障害者への配慮が足りない      | 18. 特にない                 |
| 9. 障害に理解のある医療従事者が少ない     |                          |
| 10. 症状を伝えるのが難しい・説明がわからない |                          |

## 8 就労について

問21 今後どのような形で働くことを希望していますか。既に働いている方も希望する働き方を選択してください。(1つに〇)

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 会社や団体などで正社員として働く | 5. 障害や病気で働くことができない |
| 2. パート・アルバイトとして働く   | 6. 働きたくない・働くつもりはない |
| 3. 自営業や家業の手伝いをする    | 7. その他 ( )         |
| 4. 通所施設や作業所などで働く    | 8. わからない           |



問22 仕事について、不満・不安に思うことや困っていることは何ですか。

(○はいくつでも)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 給料・工賃が少ない        | 8. 人間関係がうまくいかない     |
| 2. 働く時間が長い          | 9. 自分の能力・適性が仕事と合わない |
| 3. 身体の調子が悪くなる       | 10. 仕事にやりがいを感じられない  |
| 4. 職場の環境が整っていない     | 11. その他<br>( )      |
| 5. 仕事先が遠い・交通が不便     | 12. 特にな             |
| 6. 困った時に相談する人がいない   | 13. 働いていないのでわからない   |
| 7. 障害のある人の就労に理解が乏しい |                     |

## 9 地域との関わりについて

問23 今後、参加したい地域の行事や活動は何ですか。(○はいくつでも)

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 1. 趣味・教養などのサークル活動  | 5. 友人や仲間との交流 |
| 2. スポーツ・レクリエーション活動 | 6. ボランティア活動  |
| 3. 祭りなどの地域行事       | 7. その他 ( )   |
| 4. 障害者団体での活動       | 8. 特にな       |

問24 地域の行事や活動にもっと参加するために必要なことは何ですか。(○はいくつでも)

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| 1. 障害のある人なども使いやすい施設を整備する                | 4. 障害のある人などを支援するボランティアを育成する     |
| 2. 移動が困難な障害のある人などに配慮して、交通機関や道路を整備する     | 5. 障害のある人自身が積極的に地域との関わりを持つようにする |
| 3. 障害のある人などに対する社会の理解を深めるため、広報や福祉教育を充実する | 6. その他<br>( )                   |
|   | 7. 特にな                          |

問25 外出先で、不便なことや困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- |                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 電車やバスの利用が困難(駅やバス停を含む)              | 4. 障害者が利用しやすいトイレが少ない  |
| 2. 駐車場が少ない(車いす利用者用の駐車スペースがないなど)       | 5. 必要な場所に案内板や案内表示が少ない |
| 3. 歩道が狭い・障害物がある・誘導ブロッックがないなど、歩道に問題が多い | 6. その他( )             |
|                                       | 7. 特にない               |

問26 まわりの人をお願いしたいことは何ですか。(〇はいくつでも)

- |                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 声かけや様子をみてもらうこと                     | 6. 身体介護の手助け           |
| 2. 話し相手                               | 7. 市役所の用事などの代行        |
| 3. 外出時の付き添いや送迎                        | 8. 交流や社会参加の場を設けてもらうこと |
| 4. 書類などの代読や代筆、点訳、手話通訳などのコミュニケーションの手助け | 9. その他( )             |
| 5. 家事や買い物の手伝い                         | 10. 特にない              |

## 10 災害対策について

問27 災害時に不安なことは何ですか。(〇はいくつでも)

- |                           |                                |
|---------------------------|--------------------------------|
| 1. ひとりで避難できない             | 6. 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい         |
| 2. 避難する場所がわからない           | 7. 薬や医療的ケアを受けられる環境を確保できるかわからない |
| 3. 自分で助けを呼ぶことができない        | 8. その他( )                      |
| 4. 避難所の設備が障害に対応しているかわからない | 9. 特にない                        |
| 5. 避難所で必要な支援を受けられるかわからない  |                                |

問28 災害に備えて、市が充実すべきことは何ですか。(〇はいくつでも)

- |                            |                     |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 障害者の避難訓練を行う             | 5. 福祉避難所（福祉施設など）の設置 |
| 2. 災害時の心得や知識を広める           | 6. 避難先での医療体制の確保     |
| 3. 災害時に避難を支援してくれる協力者の体制づくり | 7. 日常生活用具の確保        |
| 4. 障害者に配慮した災害情報などの伝達体制の充実  | 8. その他（ ）           |
|                            | 9. 特にない             |

## 11 障害のある人に対する理解について

問29 障害のある人に対する社会の理解が進んでいると思いますか。(1つに〇)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 進んでいる | 3. 進んでいない |
| 2. まだ不十分 | 4. わからない  |

問30 日ごろの生活で差別や偏見を感じることはありませんか。(1つに〇)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. いつも感じる | 3. 特に感じない |
| 2. 時々感じる  | 4. わからない  |

※問30-1は、問30で「1. いつも感じる」「2. 時々感じる」と回答した方にお聞きします。

問30-1 差別や偏見を感じるのはどのような場面ですか。(〇はいくつでも)

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1. 教育の場面        | 7. 入店拒否など店員の対応や態度    |
| 2. 仕事や収入の面      | 8. 交通機関などが配慮されていない時  |
| 3. 近所付き合い       | 9. 病名などが相手にわかった時     |
| 4. 地域の行事や集まり    | 10. 動きがおかしい様子が誤解された時 |
| 5. まちかどでの人の視線   | 11. その他（ ）           |
| 6. 公共機関・施設の窓口対応 |                      |

問31 「障害者差別解消法」を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている                      2. 知らない

# しょうがいしゃさべつかいしょうほう 障害者差別解消法とは

すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を図るための法律で、平成25年6月に制定されました。

障害のある人に対する不当な差別的取扱いを禁止し、合理的配慮の提供が定められています。令和3年の改正で、すべての民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されました(公布日である令和3年6月4日から起算して3年以内に施行予定)。

## 12 障害福祉制度やサービス、施策について

問32 障害のある人のための制度やサービスを利用していますか。(1つに○)

1. 利用している
2. 利用していない

➡※問32-1 は、問32で「2. <sup>りよう</sup>利用していない」と回答した方にお聞きします。

問32-1 <sup>せいど</sup>制度やサービスを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 必要を感じない
2. 制度やサービスについて知らない
3. 利用の仕方がわからない
4. 費用がかかる
5. 利用したことがないので気が引ける
6. 人の世話を受けたくない
7. 人の目が気になる
8. 家族が反対する
9. その他

問33 障害福祉サービスなどの利用希望をご回答ください。（それぞれ1つに○）

	現在利用しており、 今後 も利用したい	現在利用していないが、 今後は利用したい	利用するつもりはない。 わからない
福祉サービス			
1. 居宅介護（ホームヘルプサービス） 自宅で、入浴、排せつ、食事の介護等を行う。	1	2	3
2. 重度訪問介護 重度肢体不自由等で常時介護が必要な人に、自宅や医療機関等で、入浴、排せつ、食事の介護、外出時の移動支援等を行う。	1	2	3
3. 同行援護 視覚障害により、行動に著しい困難を有する人が外出する時、必要な情報提供や介護を行う。	1	2	3
4. 行動援護 自己判断能力が制限されている人が行動する時に、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行う。	1	2	3
5. 重度障害者等包括支援 介護の必要性がとて高い人に、居宅介護等の複数サービスを包括的に行う。	1	2	3
6. 生活介護 入浴、排せつ、食事の介護などや身体能力、日常生活能力の維持向上の支援を行う。	1	2	3
7. 自立訓練（機能訓練・生活訓練） 身体能力、日常生活能力の維持向上のための訓練、地域生活への移行に向けた支援を行う。	1	2	3
8. 就労移行支援 一般就労などを希望する人に対する就労と職場定着に必要な支援を行う。	1	2	3
9. 就労継続支援（A型・B型） 一般企業での就労が困難な人などに対する就労に向けた支援を行う。	1	2	3
10. 療養介護 医療的ケアと介護が必要な人に対する病院などでの食事や入浴などの介護や身体能力、日常生活能力の維持向上の支援を行う。	1	2	3
11. 短期入所（ショートステイ） 自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含めて施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行う。	1	2	3

	現在利用しており、 今後 も利用したい	現在利用していないが、 今後は利用したい	利用するつもりはない・ わからない
<b>12. 共同生活援助（グループホーム）</b> 地域生活での支援を必要とする人に対する共同生活の場における相談や日常生活上の支援を行う。	1	2	3
<b>13. 施設入所支援</b> 施設に入所している人に対する入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行う。	1	2	3
<b>14. 計画相談支援</b> 障害福祉サービス利用者のサービス等の利用計画を作成する。	1	2	3
<b>地域生活支援事業</b>			
<b>15. 相談支援</b> 各種相談対応、必要な情報提供や権利擁護のために必要な援助を行う。	1	2	3
<b>16. 成年後見制度利用支援</b> 高齢者や障害者などの判断能力が不十分な人の生活の支援・財産の保護を行う。	1	2	3
<b>17. 意思疎通支援</b> 意思疎通に支障がある人に対して手話通訳者や要約筆記者などを派遣し、意思疎通を円滑にするための支援を行う。	1	2	3
<b>18. 日常生活用具の給付や貸与</b> 重度の障害のある人に対する日常生活上の便宜を図る用具の給付や貸与を行う。	1	2	3
<b>19. 移動支援</b> 自立生活や社会参加を促進するための外出の支援を行う。	1	2	3
<b>20. 地域活動支援センター</b> 創作的活動、生産活動の機会の提供、社会との交流などを行う。	1	2	3
<b>21. 訪問入浴サービス</b> 重度の身体障害により自宅以外での入浴が困難な人の自宅で入浴サービスを提供する。	1	2	3
<b>22. 日中一時支援</b> 障害のある人に対して、日中の活動の場を提供し、見守りや日常的な訓練等の支援を行う。	1	2	3
<b>23. 生活サポート</b> 指導員の付き添いによる外出支援、生活サポートセンターでの一時預かり、指導員による自宅保護などを行う。	1	2	3

問34 障 害のある人のための制度やサービスの情 報や利用方法をどこから入 手してい  
ますか。(○はいくつでも)

1. 市の担当窓口	5. 福祉事業所
2. 市の広報	6. 社会福祉協議会
3. 市のパンフレット・チラシ	7. 相談支援事業所
4. 市のホームページ	8. その他 ( )
	9. 特にない

問35 障害のある人もない人もともに住みやすいまちをつくるための施策について、必要なことは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 障害のある人などへの理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実
2. 自宅での生活を支援する在宅サービスの充実
3. 高齢者、障害のある人・児童の施設サービスの充実
4. 健康診断や健康教育などの保健・医療サービスの充実
5. 生活、財産・権利を守ってくれるサービス（成年後見制度や虐待を防ぐ取り組みなど）の充実
6. 介護を必要とする重い障害のある人のための入所施設の整備
7. リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備
8. 誰もが参加しやすいスポーツ・余暇活動の援助や施設の整備
9. 住民同士がふれあう機会や場の確保
10. 就労支援の充実・働く場の確保
11. 道路の段差解消など、移動円滑化（バリアフリー化）の推進
12. 交通の利便性の確保
13. 災害時の避難誘導体制の整備・充実
14. 保健・福祉の専門的な人材の育成と資質の向上
15. 障害福祉サービスの利用手続きの簡素化
16. 相談窓口や情報提供の充実
17. ボランティアの育成やボランティア組織のネットワーク化
18. その他（ ）
19. 特にない

問36 市へのご意見、ご要望を自由にお書きください。


きょうりよく  
ご協力ありがとうございました